

議案質疑

3月定例会で提案された各議案について、本会議や各常任委員会で審議が行われました。

ここでは、本会議や委員会での主な質疑の内容を掲載しています。



JR京都線の高架化 実現の見通しは

議員 JR京都線の芥川以西における高架化について勉強会をされていますが、勉強会の内容及び実現見通しを伺います。

都市づくり推進課長
平成27年度は茨木市、JR西日本、大阪府、本市の4者で勉強会を開催し、課題やメリットを議論しています。28年度からは業務委託を活用し、高架化の



高架化に向けた勉強会が行われているJR京都線▲

実現性の検討を行い、関係者で合意形成を図りながら方向性を整理する考えであるため、現時点では実現時期等を見通すことはできていません。

議員 先行して議論のあった阪急高架化の動向について伺います。

都市づくり推進課長
富田地区交通まちづくり基本構想において阪急京都線の高架化促進を位置

づけているため、府には、高架化の必要性等を説明し、主体的に取り組むよう要望しています。



行政 みらい創生審議会 その役割は

議員 新たに設置されるみらい創生審議会は、次世代を担う子どもたちに負担を残さず、持続可能なまちづくりを推進する「みらい創生」に関する重要施策の推進について調査・審議するとのことですが、どのような役割か伺います。

機動政策室主幹 今後、より一層厳しい財政状況が予測されることから、全事務事業の見直しを行う中で、中長期的な視点から、既存の枠組みを超えて議論が必要な案件を調査・審議していきたい

と考えています。

議員 本市の未来が懸かっているとも言えますので、審議内容に応じた委員の委嘱をしてほしい。



子育て 妊娠期から子育て期まで 切れ目のない支援を

議員 本年5月から、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援を提供する子育て世代包括支援センター事業を実施されますが、事業の進め方を伺います。

子ども保健課長 最も育児負担が大きく子育てが孤立しやすい乳児期に、きめ細やかな支援が必要と考え、まずは妊娠期や出産前後の支援を充実させるため、妊娠中に個々の子育て支援プランを作成し、支援機関と情報共有するなど、切れ目のな



保健センターで育児相談を受けている様子▲

い支援体制を構築しようとするものです。

議員 妊娠届け出時に全件面接を行うため、妊娠届け出や母子健康手帳等の交付を現在の15か所から保健センター2か所に集約されます。届け出が不便になり届け出者が減る可能性もありますので、児童虐待リスクの高い妊婦健康診査未受診者が増えないよう、妊娠届け出の網羅性の確保に努めてほしい。